

青森・岩手県境不法投棄現場環境再生の提案

# 資源循環型による エコアグリカルチャー

提案者 東急建設株式会社

# プレゼンテーションの構成

1. 提案の概要について

2. テーマ選定の理由について

3. テーマ実現のための基本プラン

4. 期待される効果について

# 提案の概要について

## ⑤ 土地利用計画について



# プレゼンテーションの構成

1. 提案の概要について

2. テーマ選定の理由について

3. テーマ実現のための基本プラン

4. 期待される効果について

# 田子町の取組み

(テーマ選定理由)

- ① 環境再生にバイオマスエネルギーを選んだ背景について

平成17年3月

「田子町地域新エネルギービジョン」報告書

平成18年3月

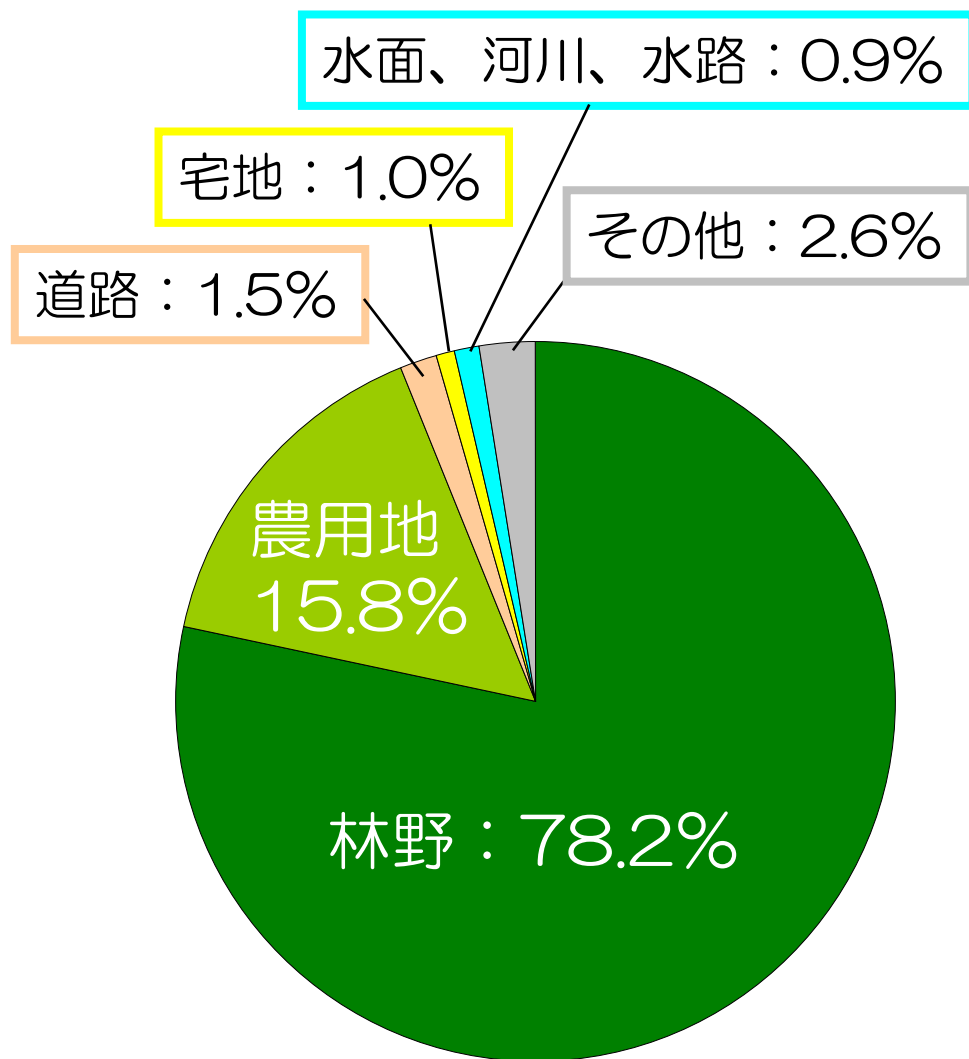
「田子町地域新エネルギービジョン  
(重点テーマに係る詳細ビジョン)」報告書

平成21年2月6日提出

(農林水産省公表：3月31日)

田子町バイオマスタウン構想

# 田子町のバイオマス (テーマ選定理由)

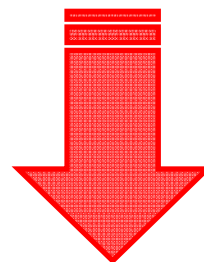


田子町における土地利用現況

(田子町地域新エネルギービジョン報告書平成17年3月より)



田子町の未利用  
木質バイオマスによる  
期待可採量 (熱量)  
約19,000万MJ/年



二酸化炭素排出削減  
12,809 t-CO<sub>2</sub>/年



住宅換算

約6,900世帯  
(2,720万kJ/世帯・年)

田子町：2,253世帯

# 冬の農業（青森県HPより）

# （テーマ選定理由）

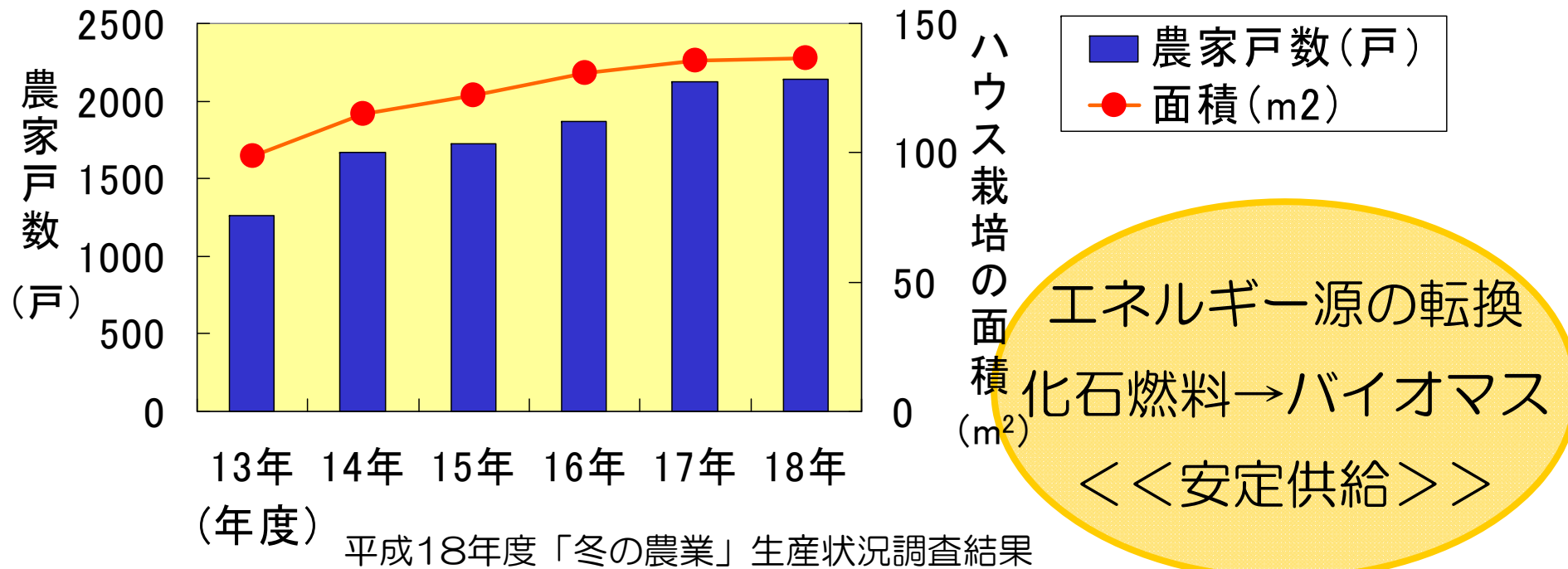
区分	取組内容	主な内容
冬のハウス栽培	<ul style="list-style-type: none"><li>冬の寒さを利用した無加温栽培</li><li>加温による高収益栽培</li></ul>	無加温：ほうれんそう 加温：いちご、アスパラガス
冬の路地栽培	<ul style="list-style-type: none"><li>冬の寒さや雪により付加価値を高めた露地栽培</li></ul>	雪中にんじん
雪などを利用した貯蔵	<ul style="list-style-type: none"><li>雪室による野菜や果樹の保存</li></ul>	雪室りんご
冬の農産加工	<ul style="list-style-type: none"><li>冬の寒さや労働力を活用した加工品づくり</li></ul>	寒だいいこん、干し餅
冬のグリーン・ツーリズム	<ul style="list-style-type: none"><li>関連産業などと連携した冬の農業体験など</li></ul>	観光いちご園、どぶろく提供

# 冬の農業 (青森県HPより)

(テーマ選定理由)

区分	取組内容	主な内容
冬のハウス栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の寒さを利用した無加温栽培</li> <li>加温による高収益栽培</li> </ul>	無加温：ほうれんそう 加温：いちご、アスパラガス

冬のハウス栽培の面積および農家戸数の推移

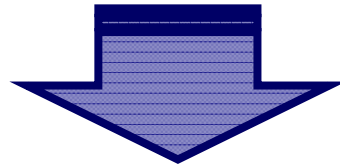




# エコアグリカルチャー（テーマ選定理由）

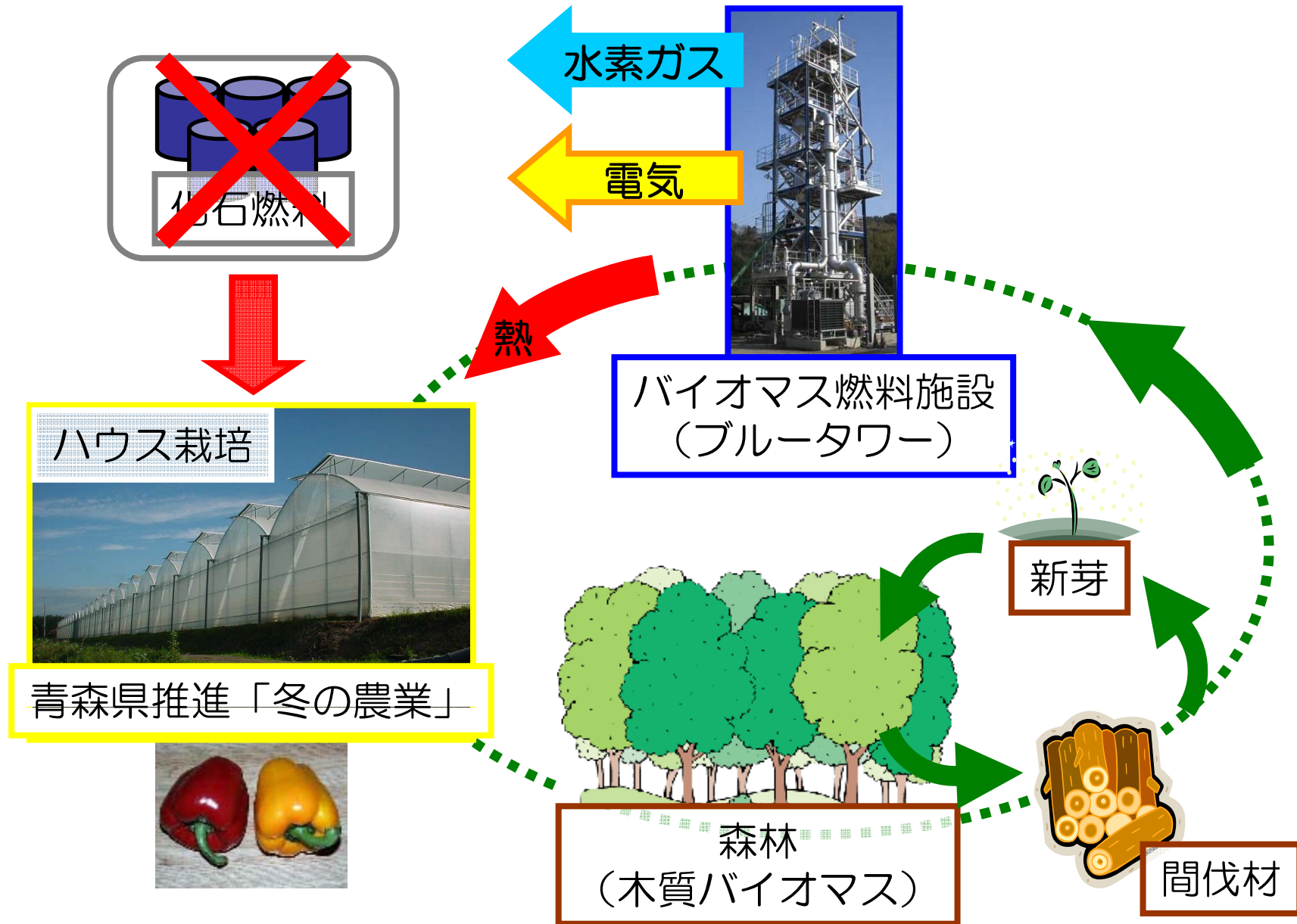
## ① 環境再生にバイオマスエネルギーと農業を選定した背景

- ・ 田子町地域新エネルギービジョン  
（木質バイオマス）
- ・ 青森県の「冬の農業」（ハウス栽培）



## ② バイオマスと農業を組合せたエコアグリカルチャーについて

# エコアグリカルチャー (テーマ選定理由)



# プレゼンテーションの構成

1. 提案の概要について
2. テーマ選定の理由について
3. テーマ実現のための基本プラン
4. 期待される効果について

# 不法投棄現場の環境再生計画 (基本プラン)

現況 (H20. 6. 11撮影)

再生計画イメージパース

バイオマス燃料施設

研修施設

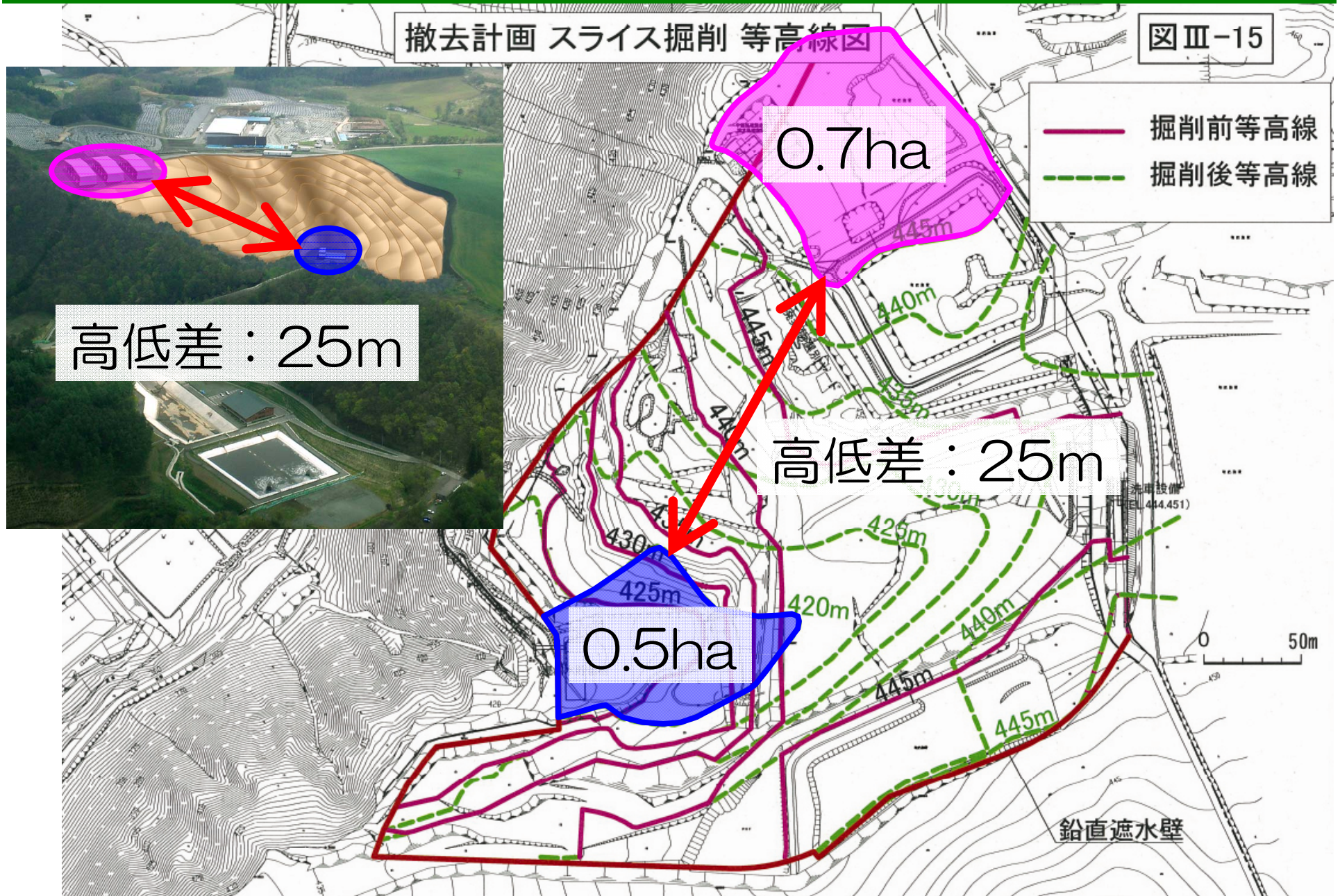
農業ハウス施設

緑地の再生



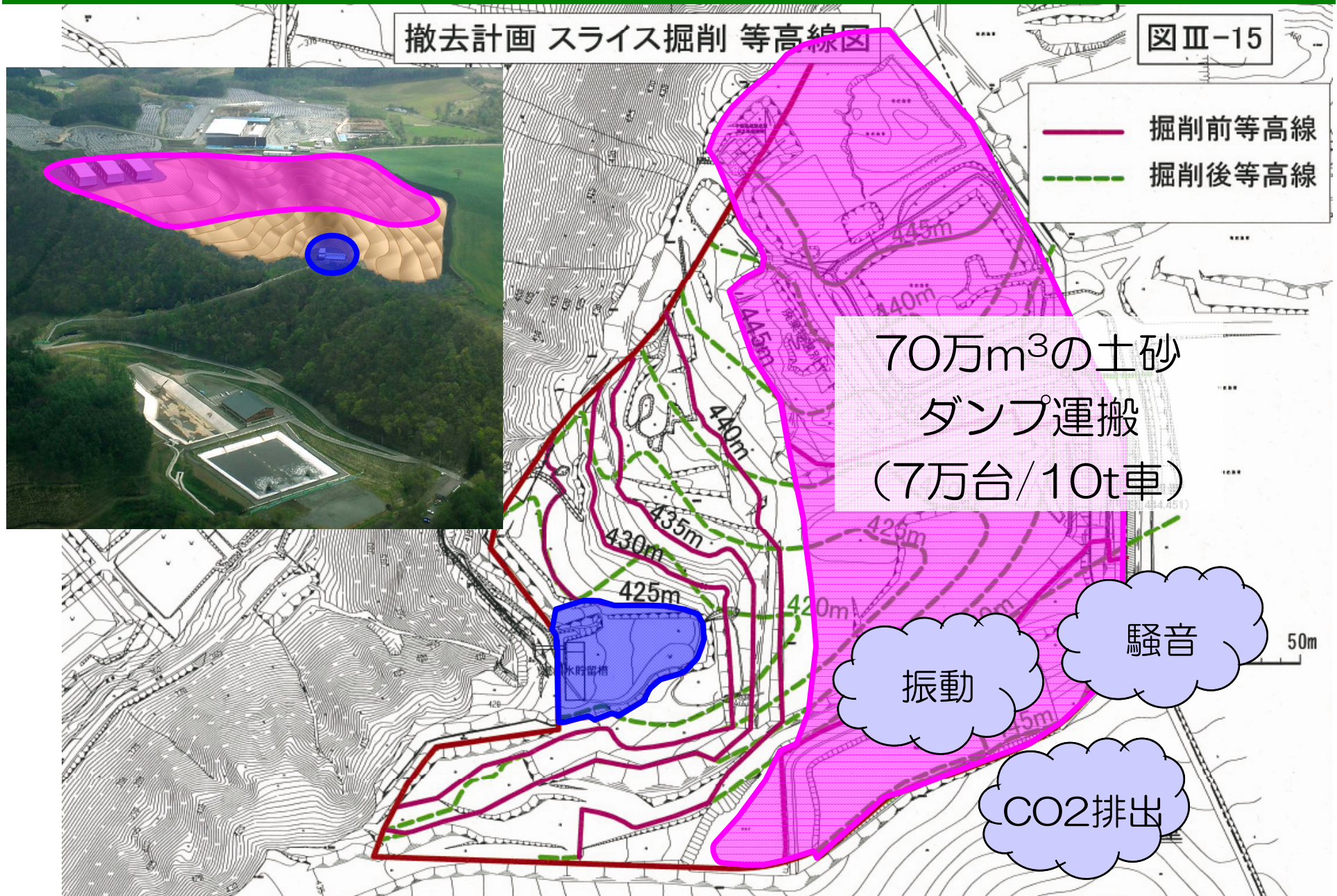
# 地形条件

# (基本プラン)



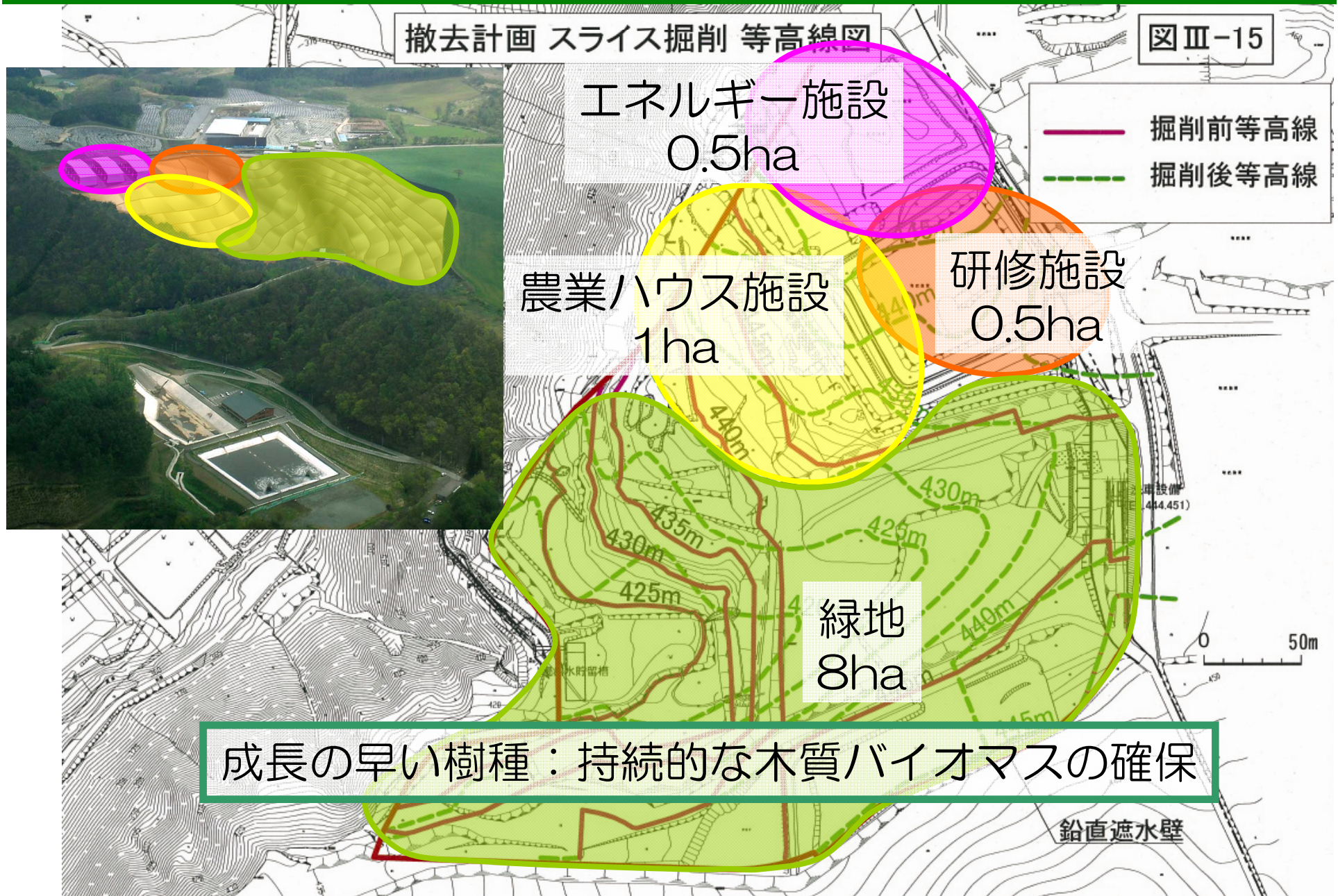
# 地形条件

# (基本プラン)



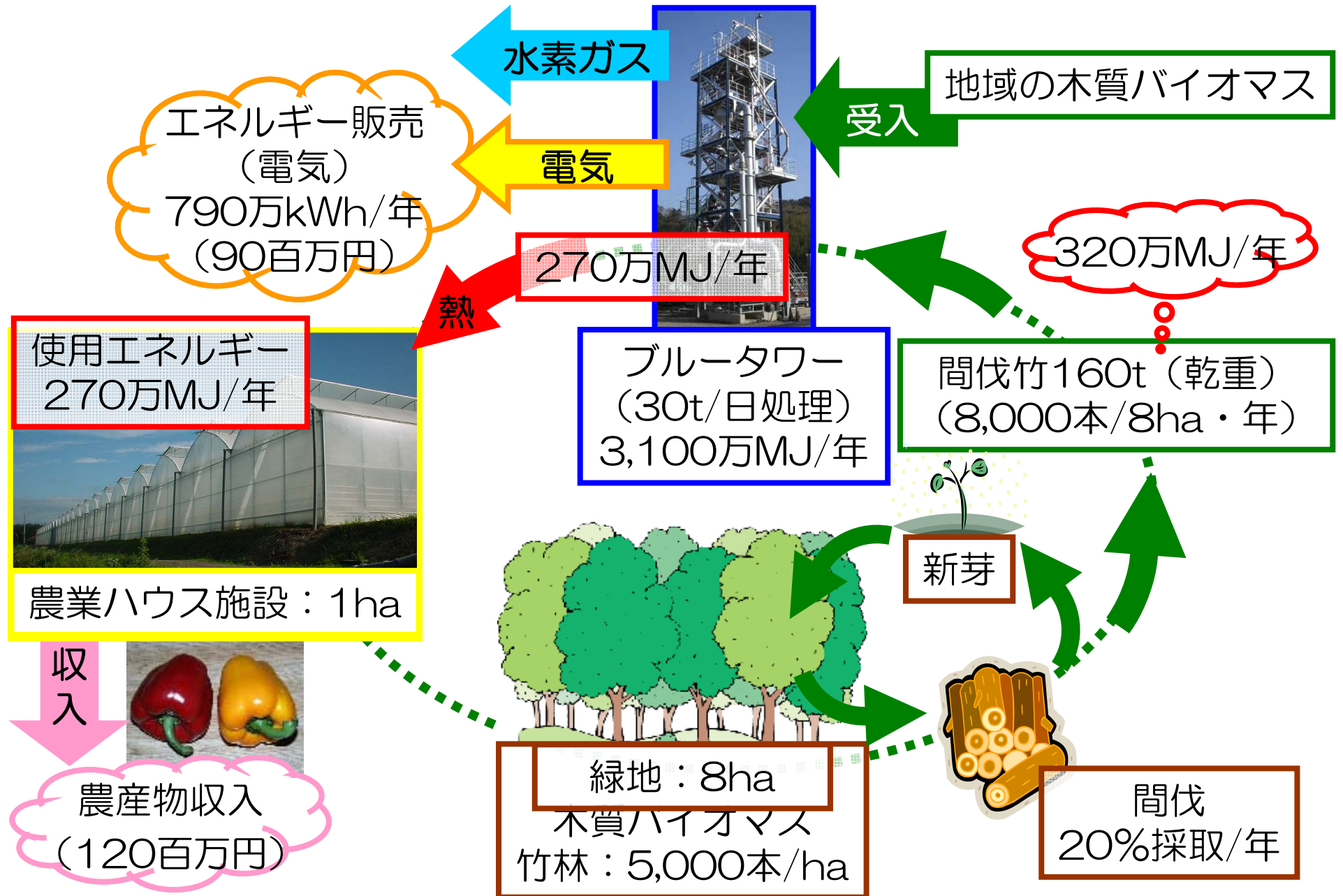
# 土地利用計画

(基本プラン)



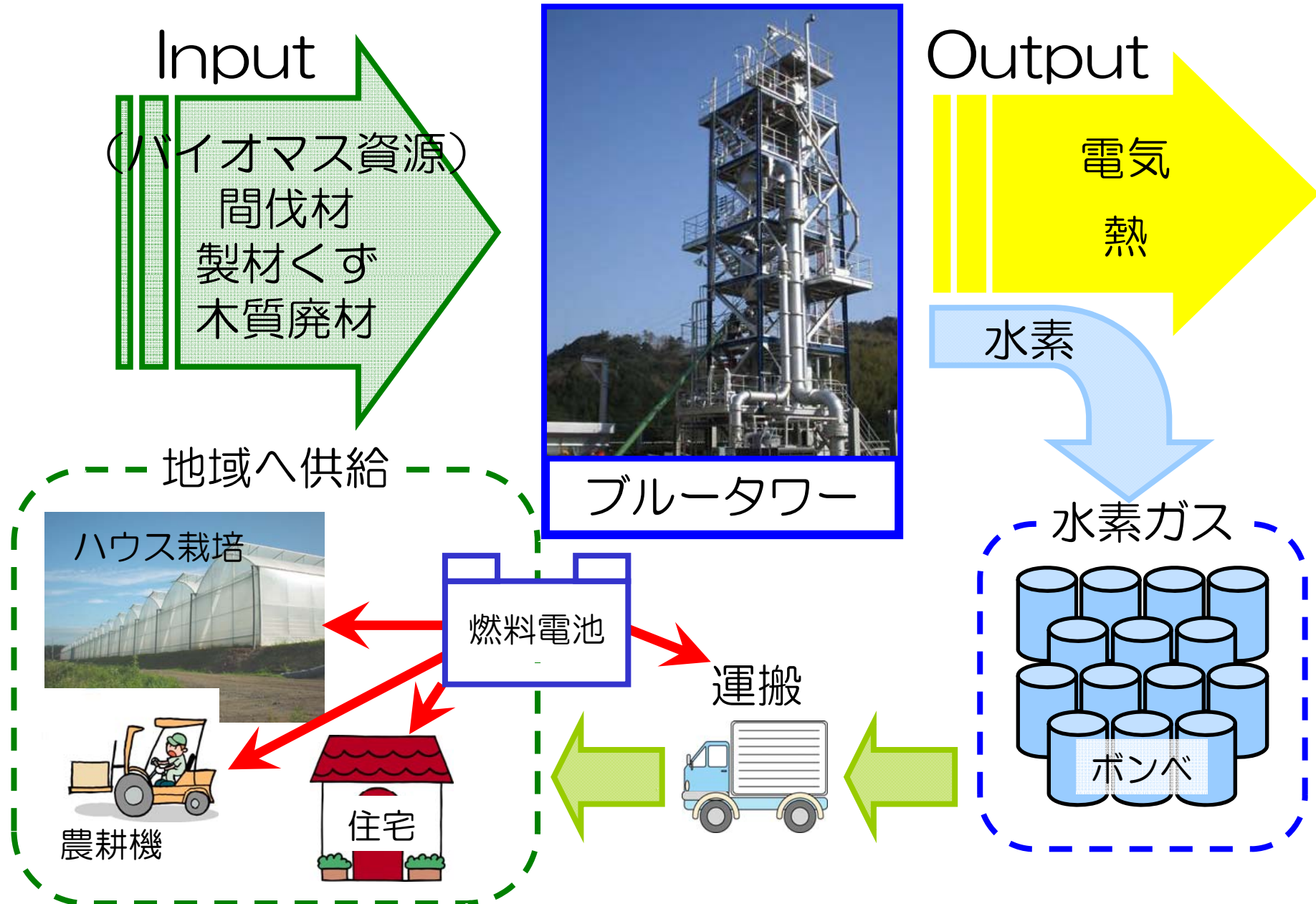
# 施設計画とエネルギー

## (基本プラン)





# ブルータワーシステムの特長 (基本プラン)



# 概算事業費

支出（初期投資）	1,825百万円	（※1の小計：3,550百万円）
農業ハウス施設建設費	（※1） 250百万円	1.0（ha）農業ハウス 水耕栽培システム、暖房施設等
造成費	（※1） 500百万円	1.5（ha） 農業ハウスは階段状に設置
ブルータワー建設費	（※1） 2,600百万円	30t/日処理
研修施設建設費	（※1） 200百万円	敷地面積0.5ha
再生緑地	50百万円	8（ha）
支出（年間）	100百万円	
ランニングコスト	100百万円	人件費、苗代、肥料代等
収入（年間）	210百万円	
農作物販売収入	120百万円	イチゴ、パプリカ等で算定
エネルギーの販売	90百万円	790万kWh/年、11円/kWh

※1：施設建設費等は「バイオマスタウン構想」等の補助金により1/2にしました。

事業採算性は、ほぼ10年で減価償却可能

# プレゼンテーションの構成

1. 提案の概要について
2. テーマ選定の理由について
3. テーマ実現のための基本プラン
4. 期待される効果について

# 期待される効果

- 新たな雇用の確保が見込める。
- 青森県が推進する「冬の農業」に貢献できる。
- CO2削減、環境に貢献する地域としてPR効果が見込める。
- 循環型地域社会を実践する町としてイメージ・知名度アップが期待できる。

# 期待される効果

- ・新規産業の誘致に伴う町の税収入の増加が見込める。
- ・イメージ・知名度のアップによる波及効果として、観光、移住、グリーン・ツーリズムが期待できる。
- ・施設を利用した農業従事者の育成が可能である。



青森・岩手県境不法投棄現場環境再生の提案

資源循環型による  
エコアグリカルチャー

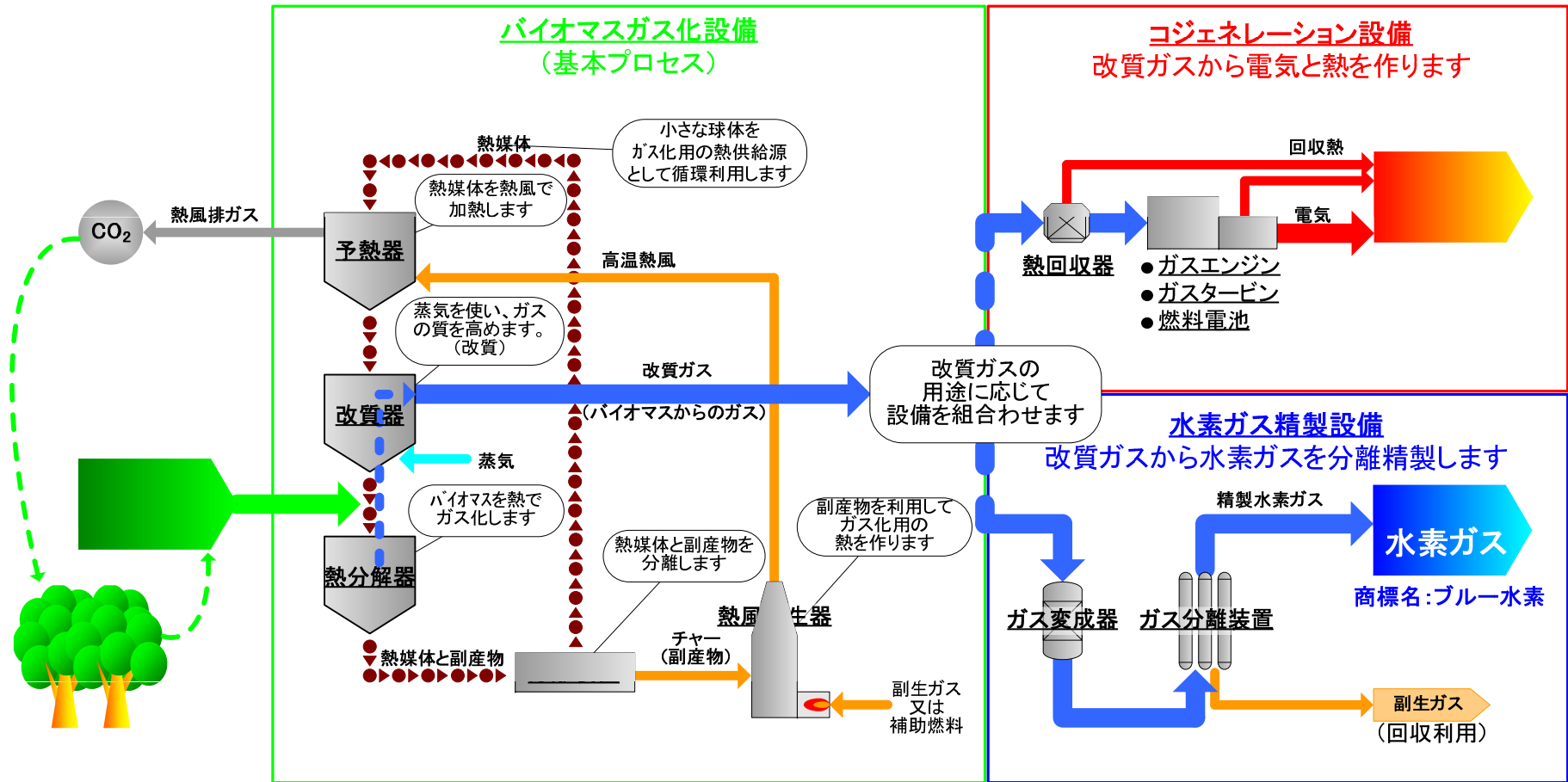
ご清聴ありがとうございました

提案者 東急建設株式会社



# ブルータワーシステムフロー

## ブルータワーシステムフロー

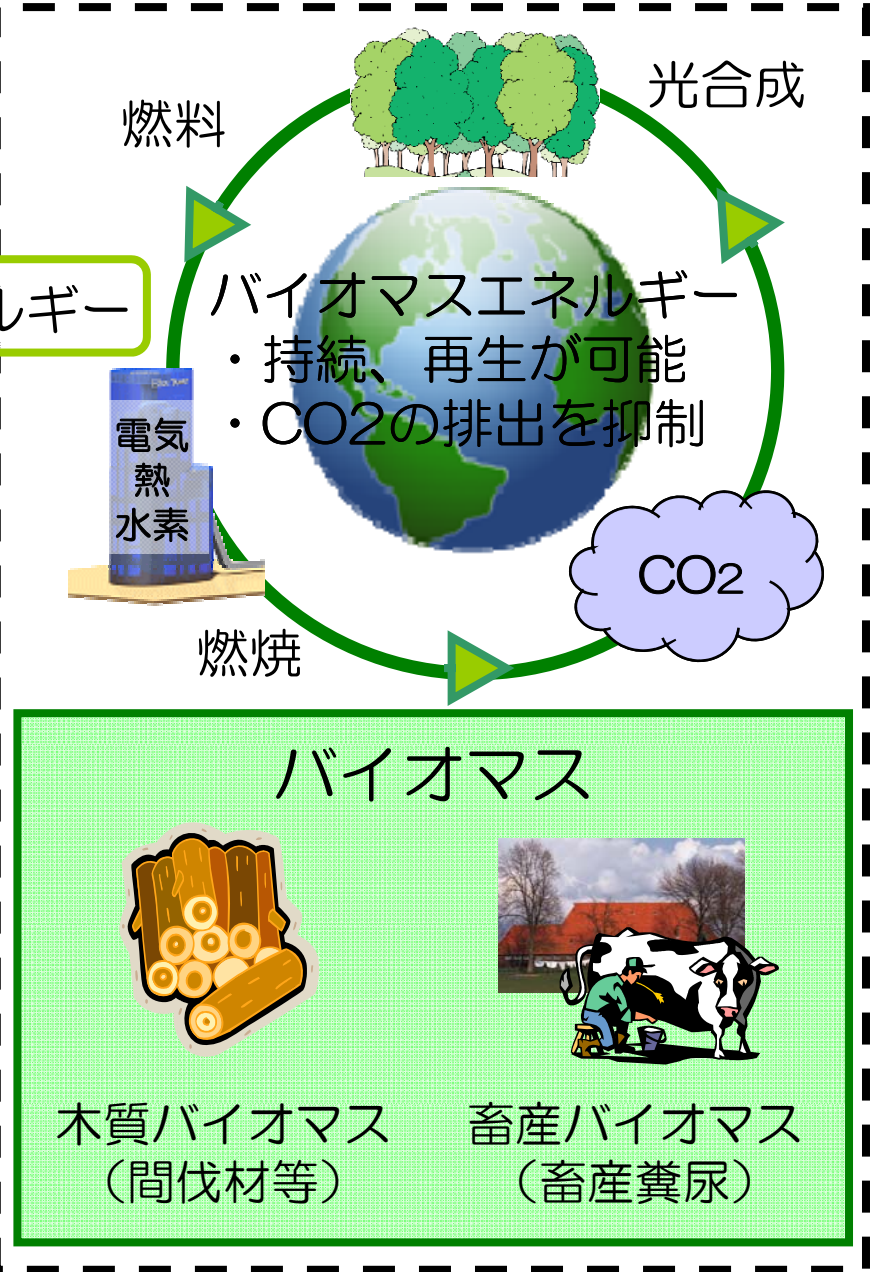
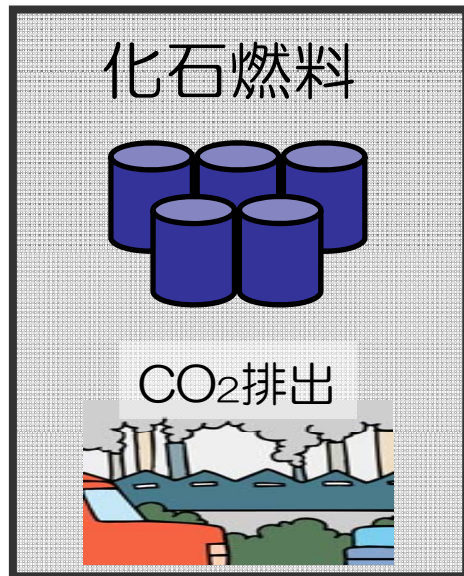




# エコアグリカルチャー



エネルギー



施設	値 (単位)	備考
農業ハウス	1 (ha)	
使用エネルギー量	260万 (MJ/年)	※1
バイオマス燃料施設	30 (t/日処理)	ブルータワーシステム
創出エネルギー量	発熱量320万 (MJ/年)	※2
創出エネルギー量	発電量790万 (kWh/年)	※3 (発熱量換算2,800万MJ/年)
二酸化炭素排出削減	2,137 (t-CO <sub>2</sub> /年)	灯油の代替によって 削減できる二酸化炭素 (灯油68.5kg-CO <sub>2</sub> /GJ)

※1 : 1haあたりの加温栽培に使用する灯油量約70,000ℓ/年  
単位熱量36.7MJ/単位

※2 : 再生緑地から得られる木質バイオマスエネルギー  
竹林5,000本/ha、新竹発生率20%、熱量40万MJ/ha

※3 : 30tのブルータワーの能力で、※2とは別に創出できるエネルギー

# 補助金について

10

補助制度名	補助内容	補助者
バイオマスタウン構想	構想案作成費用1/2 建設費等1/2	農林水産省
地域新エネルギー導入促進事業 地域新エネルギー導入促進普及啓発事業	導入促進事業1/2以内または 1/3以内 普及啓発事業定額	NEDO技術 開発機構
新エネルギー事業者支援対策事業	事業経費補助1/3を上限等	NEDO技術 開発機構
地域地球温暖化防止支援事業	1/2以内 (営利活動事業1/3以内)	NEDO技術 開発機構
新エネルギー・省エネルギー 非営利活動促進事業	補助対象事業の1/2以内	NEDO技術 開発機構
バイオマス等未利用エネルギー 実証設置事業同事業調査	実証実験1/2、事業調査は 定額(上限あり)	NEDO技術 開発機構
木質バイオマスエネルギー利用促進事業	1/2	林野庁 木材課

(一部、田子町地域新エネルギービジョン報告書平成17年3月より)